

令和6年2月22日(木)



TEAM 戸上

千曲市立戸倉上山田中学校だより NO.13

文責 久保田隆昭

今年度最後の参観日 ありがとうございます

3年生は1月23日(火)、1・2年生は2月6日(火)に本年度最後の参観日、学級・学年懇談会を計画したところ、たくさんの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。また、今年度PTAの役員になられた方々には、最後まで中心となって進めていただきました。1年間本当にありがとうございました。

またこの機会をいただき、学校長より、来年度の「千曲・坂城クラブ」の方向についての説明をいたしました。

III 千曲坂城クラブ発足にあたっての悩み	IV おわりに
1 指導者の確保	これからの学校としての取組
2 活動目的と活動内容の明確化	1 指導を希望する教職員が学校業務に支障なくクラブ指導に行けるような体制づくり
3 財源の確保	2 テストや休業日、日課などを揃えるなど、クラブに参加しやすい体制づくり
4 専門部のない「部活動」のこれから	3 生徒の願いや健全育成を第一にしたクラブ運営→生徒・指導者・保護者の意識の共有化。

今年度動き始めた「千曲・坂城クラブ」ですが、令和8年度の部活動からの完全移行を目指して、来年度は今年度より少し進んだ活動となります。まだまだ課題点も多いのが現状ですが、子どもたちにとってよりよい活動となるようご理解、ご協力をいただければ幸いです。ご不明な点などがありましたら、お問い合わせください。

戸上中コミュニティースクール「チームつばさ」本年度の活動から 地域の方とともに

学校だよりNO4で、本校のコミュニティースクール「チームつばさ」についてお伝えしました。この1年間、地域の方から支援をいただいたり、地域の方と交流したりと「チームつばさ」の活動をいろいろ行ってきました。プライドファイブの「地域に感謝」に関わる活動となり、支援いただいた地域の方々に感謝です。5月以降の活動を紹介します。



8/30 1学年地域散策で講師を依頼



9/9 敬老の日インタビュー 生徒会役員参加



10/31 読書週間2 学年読み聞かせ会



11/20 4年ぶりに開催した「トークフォークダンス」1年生と地域の方々と交流



読み語りの会 読むのが好きな生徒が参加 年8回実施

中條 正祥 先生 お世話になりました

療養休暇を取られていた吉原盛幸(よしはらもりゆき)先生が2月26日(月)より復帰されることになりました。吉原先生の代わりにお勤めいただいていた中條正祥(なかじょうまさよし)先生は2月22日(金)をもって勤務が終了となります。中條先生とのお別れは寂しい限りですが、生徒のみなさんには教えていただいたことを大事にして、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。

中條先生より

約11か月という短い期間ではありましたが、生徒のみなさん、保護者の皆様には様々な面で大変お世話になりました。戸上中は私にとって初めての中学校勤務校であるとともに、母校でもあります。戸上中生のみなさんと日々の授業やつばさ祭などの学校行事に共に取り組み、自分も中学生としてこの戸上中で過ごした日々を思い出しました。初の中学校勤務で不安でいっぱいでしたが、戸上中の雰囲気は自分がいたところと変わらず、母校に戻ってこられたことを1人の人間として嬉しく思いました。この11か月、国語の授業をはじめとした日々の学習、担当させていただいたサッカー部の北信越出場など、貴重な経験をたくさんさせていただきました。至らない点ばかりで、振り返ってみると反省ばかりですが、戸上中で過ごした時間はかけがえのないものです。戸上中での経験を生かし、4月から新たな地で邁進して参りたいと思います。本当にありがとうございました。戸上中生のみなさんのご活躍を祈念しております。

ハンドボール部男女「第19回 春の全国中学生ハンドボール選手権大会」 出場！

1月の県選抜大会で優勝したハンドボール部男女各チームは、3月23日から福島県福島市等で行われる「第19回 春の全国中学生ハンドボール選手権大会」に長野県代表として出場します。本来は、富山県氷見市で行われる大会なのですが、能登半島地震により氷見市も大きな被害に見舞われ、大会の開催が危ぶまれましたが、福島県協会が「東日本大震災で支援してもらった恩返しをしたい！」と代替開催に名乗りを上げてくださり、大会が実施されることになりました。男女ともに、全国の強豪と対戦しますが、多くの方々に感謝の気持ちを持ち、精一杯戦ってきたいと思います。(ハンドボール部顧問)

男子組み合わせ (一部)



女子組み合わせ (一部)



男女とも各県の代表47チームが参加しての大会となります。

男子は、1回戦、熊本県代表の出水中学校と対戦します。女子は、2回戦で沖縄県代表の仲西中学校と京都府代表の田辺中学校の勝者と対戦します。ともに優勝してもおかしくない位の強豪との対戦ですが、自分たちの力を出し切ってきます！

教務徒然草

今年も卒業式が近づいてきた。

私たち教員の仕事は、3年間の繰り返しであり、どんなに気持ちを傾けて、深く関わった生徒たちであっても、卒業させてしまうと関わりは薄くなっていく。新年度になり、最初は頻りに顔を見せていた卒業生も次第に足が遠のき、何となく顔も、そして名前すら記憶の底にしまわれていく。目の前には新たに出会った生徒たちがいて、頭の中も気持ちもその生徒たちのことに更新されていくのだ。

「先生！私たちのこと、まだ好きなんでしょー！」…と昨年度まで担任していた学級の生徒(高校生である)に言われた。どうやら、弟妹関係でこの学校だよりを見て、時々書かれていた「教務徒然草」を読んだようだ。

まあ、私からすると、この「学校だより」に何を書こうか…という気持ちから、差し障りのない範囲で去年のできごとを書くことが多かったわけだが、書いているとなんだか懐かしい気持ちになることは確かだった。

卒業させて1年。どんな高校生活を送っているのかな…と思うことはあっても、もうそこに深く関わることはほとんどないだろう。寂しさもあるが、そうやっていくのが自然な流れなのだろう。

